

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 ITスペシャリスト科	1	コンピュータ概論	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習	吉田 富彦	☒ 有	☐ 無
[実務経験歴]			
・ IT系企業において約30年間、SEとして担当～マネージャに従事 ・ 企業の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当 ・ 主にアプリケーションエンジニアとしてERPシステム構築の要求分析～設計～リリースにおけるコンサルテーションを実施			
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☒ 必修 ☐ 選択
[授業の目的・ねらい]			
・ 基本情報処理技術者試験におけるテクノロジ系の大分類2「コンピュータシステム」の分野について理解する ・ コンピュータにまつわる各種用語を説明できるようになる ・ コンピュータの仕組み／動きについて説明できるようになる			
[授業全体の内容の概要]			
・ ハードウェア（テキスト第一部） ・ ソフトウェア（テキスト第三部）			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
基本情報処理技術者試験のテクノロジ系の大分類「コンピュータシステム」の問題が解けること			
[準備学習の具体的な内容]			
予習：テキストの次回学習予定箇所を読んでおく			
復習：授業中登場したキーワードについて、自分なりの説明文を書く			
問題の反復練習を行う			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
ITワールド(インフォテックサーブ)		・試験の点数は60点以上を合格点とする。	
参考文献		・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
必要に応じて授業の中で紹介する。		評価基準	
		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	オリエンテーション， イントロダクション		
2回	コンピュータの基本構成， コンピュータのデータ表現（データ表現）		
3回	コンピュータのデータ表現（基数と基数変換） 1		
4回	コンピュータのデータ表現（基数と基数変換） 2		
5回	コンピュータのデータ表現（データの表現形式） 1		

6回	コンピュータのデータ表現（データの表現形式） 2
7回	コンピュータのデータ表現 問題練習
8回	まとめと振り返り
9回	中央処理装置と主記憶装置（中央処理装置の構成）
10回	中央処理装置と主記憶装置（主記憶装置の構成）
11回	中央処理装置と主記憶装置（命令とアドレッシング）
12回	中央処理装置と主記憶装置（命令とアドレッシング）
13回	中央処理装置と主記憶装置（ALUの構成回路）
14回	中央処理装置と主記憶装置 問題練習
15回	まとめと振り返り
16回	補助記憶装置 1
17回	補助記憶装置 2
18回	補助記憶装置 3
19回	入出力装置 1
20回	入出力装置 2
21回	入出力装置 3
22回	まとめと振り返り
23回	ソフトウェアの分類
24回	オペレーティングシステム 1
25回	オペレーティングシステム 2
26回	プログラム言語と言語プロセッサ 1
27回	プログラム言語と言語プロセッサ 2
28回	ファイル 1
29回	ファイル 2
30回	まとめと振り返り